

# 公益社団法人ガールスカウト日本連盟

2018 年度

事業計画書



わたしが変わる。  
未来が変わる。

## 2018 年度 ガールスカウト日本連盟 事業計画

### 日本連盟 使命：

少女と若い女性が自分自身と他の人々の幸福と平和のために、責任ある市民として自ら考え、行動できる人となれるようにする。

### 日本連盟 2020 年のビジョン

すべての少女と若い女性が声をあげ、よりよい社会にするために行動を起こす

### ガールスカウト日本連盟 活動基本方針

#### ガールスカウトは

**少女と女性の視点に立って、より幸せな社会と未来の実現を目指し、リーダーシップを発揮できる人材を育成するとともに、社会に変化をもたらすチェンジエージェントとして行動します。**

ガールスカウトは自らが行動していく運動です。日本では 100 年前から「自分で考え、行動できる女性」を育てるノンフォーマル教育に取り組んできました。ガールスカウトの少女たちは、人との関わりを通して、さまざまな役割と活動を経験していく中で、豊かな人間性を身につけていきます。そして、自分の人生を自分で切り拓く力をもった女性に育っています。

私たちのこれからの挑戦は「女性とその可能性を最大限に発揮できる社会環境をつくりあげていく」ことです。そのために、少女と女性の可能性を伸ばすことを妨げる問題に対して声をあげ、社会に変化をもたらす行動を積極的におこない、貢献していきます。

使命、ビジョンを達成するために2018年～2020年の戦略計画を次のように決めました。2018年からの事業計画は、この計画に則って進めていきます。また、戦略計画は、日本のガールスカウトすべてで取り組むことにより、ゴールに近づきます。県連盟、団での取り組みを共に進めてまいりましょう。

## 2018－2020 ガールスカウト日本連盟戦略計画

### 戦略計画のゴール：

- ゴール1 少女と若い女性が能力を伸ばし、リーダーシップを発揮する機会をより多く提供する
- ゴール2 少女と若い女性が社会を変える力をつける

### 戦略テーマと目標：

テーマ	目標
① 運動にかかわる仲間の拡大	2020年に会員数4万人を実現する
② 社会に対するガールスカウトの「はたらきかけ」を拡大	2020年まで毎年100件、コミュニティに変化をもたらす「プロジェクト」を実施する
③ 活動を持続するための財政基盤の強化	2020年までに収支差額0円を実現する
④ 100周年事業を契機としたガールスカウト運動の強化	・現会員全員が100周年事業に参加する ・10万人のガールスカウト経験者が声をあげる

## 2018年度 事業計画

### 日本のガールスカウト運動 100周年事業

2020年は、日本のガールスカウト運動が始まって100年目の年です。  
この年を、会員4万人で迎えることを目指します。

2018年度は、「社会に変化をもたらすガールスカウトの姿を示す」ために、コミュニティアクション チャレンジ 100 への取り組みを更に促進します。また、社会に変化をもたらす仲間を増やすために、100万人とつながるキャンペーンを通し、ガールスカウトに参加する人を増やすと同時に、社会に対してガールスカウトの認知度を高める活動に取り組みます。100周年プランを推進することで、ガールスカウト運動がこれまで培ってきたことをふりかえり、また新たに挑戦し、関わった人、これから関わる人のモチベーションを高めることを目指します。

事業名	期日・場所・内容など
コミュニティアクション チャレンジ 100 (CAC100)	エントリー：随時受付 審査対象：3月末時点報告 10月 表彰式の予定
100万人とつながるキャンペーン	年間
ガールスカウト 100年記念誌出版	出版準備開始
100周年に向けた資金調達活動（ファンドレイジング）	みらい募金への協力依頼 ファンドレイザーを組織する
100周年記念イベント（2020年 国際ガールズメッセ／2021年 インターナショナルキャンプ）	準備開始

### 教育プログラム

「リーダーシップ育成とチェンジエージェントとして行動する」を達成するために

- ・年少部門の良質な体験活動の提供を可能にするプログラム
- ・年長部門からユース年代にかけて、社会に影響を与えるための能力開発プログラム
- ・多様な価値観を体感するプログラム

を充実させ、全国での実施を進めます。  
また、みんなの力を合わせ社会に変化をもたらすプロジェクトを推進します。

(注：**W** 世界連盟プログラム、**AP** アジア・太平洋地域プログラム)

事業名	期日・場所・内容など
レンジャー年代： 全国キャンプ	キャンプ名未定 8月6日（月）～8月9日（木） 戸隠ガールスカウトセンター（舎営） 30人程度

事業名	期日・場所・内容など
レンジャー年代： 全国キャンプ（つづき）	キャンプ名未定 8月15日（水）～8月18日（土） 戸隠ガールスカウトセンター（舎営） 30人程度
	キャンプ名未定 8月15日（水）～8月19日（日） 戸隠ガールスカウトセンター（野営） 40人程度
ユース年代： 国際イベント	事業名未定 2019年2月9日（土）～2月13日（水） 国立オリンピック記念青少年総合センター 30人程度（18歳～概ね25歳） *世界連盟から指導者を招き、英語でのプログラムを提供（予定）
ユースチャレンジプログラム	1グループ50,000円を助成（最大7グループ）
地区シニア部門事業	地区に対し、FBM*又はVAV**をテーマとした活動に、 1地区50,000円を助成
国際理解支援事業	海外研修渡航費補助（10グループ）
Greener×Greener II	年間・全国 国内の活動推進
W Stop the Violence（STV***）キャンペーン	VAV バッジ、STV バッジへの取り組み促進
W Free Being Me（FBM）第2段階	大好きなわたしバッジ、FBM 行動編バッジへの取り組み促進
オリンピアバッジの作成	ピースプロジェクトとして作成
減災・防災プロジェクトの促進	防災マイスターバッジへの取り組み促進
AP ミャンマー連盟との協働プロジェクト	大学生年代対象（Reach Out プロジェクト）
ワールドシンキングデイ	2019年2月22日（金）・全国
戸隠ガールスカウトセンターを活用した教育の実践	4月28日（土）～11月12日（月）
教材等の出版・販売	年間
プログラム開発特別委員会	年間
教育・指導者委員会	年間

注) FBM\* : Free Being Me      VAV\*\* : Voices Against Violence      STV\*\*\* : Stop the Violence  
STV と VAV の関係について : Stop the Violence キャンペーンは、少女に対する暴力をなくすキャンペーンで、世界連盟全体で取り組んでいます。このキャンペーンには教育プログラムがあり、Voices Against Violence みんなでつくる 差別と暴力のない世界プログラムがそれにあたります。日本連盟では、VAV で扱う 8 つの暴力の中にもあるデートDV について学べるように、独自に STV バッジを設けています。

## 成人のトレーニング

少女と女性のリーダーシップ開発と、チェンジエージェントとして行動する少女と女性を支援できるリーダー、トレーナーの育成・養成を充実させます。

(注：**W** 世界連盟プログラム)

事業名	期日・場所・内容など
トレーナーセミナー	第1回 12月1日(土)～12月2日(日) 国立オリンピック記念青少年総合センター
	第2回 2019年2月23日(土)～2月24日(日) 大阪市立青少年 KOKOPLAZA
トレーナートレーニング	9月15日(土)～9月17日(月・祝) 戸隠ガールスカウトセンター
<b>W</b> Stop the Violence キャンペーン VAV 指導者研修会	山形県会場 10月 千葉県会場 8月25日(土)・26日(日) 東京都会場 2019年3月2日(土)・3日(日) 静岡県会場 未定 和歌山県会場 未定 岡山県会場 10月 沖縄県会場 未定
ガールスカウトトレーナー 認定講習会・審査会	2019年1月13日(日)～1月14日(月・祝) 国立オリンピック記念青少年総合センター／ガール スカウト会館
プログラムトレーナー 認定審査会	2019年1月12日(土) ガールスカウト会館
	別途西日本方面での実施検討中
トレーナー養成・育成勉強会	岡山県会場：4月14日(土) 岡山県生涯学習センター
	宮城県会場：4月21日(土) 太白区中央市民センター
海外研修本部派遣	WAGGGS プログラム等へ成人会員の派遣
リーダー養成講習の開催	全国
リーダー養成講習・指導者研修 指導者派遣	随時
トレーナーへの支援	年間
成人トレーニング特別委員会	年間

## 組織と運営

都道府県連盟運営の支援の充実を図ります。日本連盟、県連盟の組織運営の課題を明確にし、課題解決に向けた取り組みを促進します。

持てる力を十分に発揮するために、会員内のコミュニケーションの向上を目指します。

事業名	期日・場所・内容など
連盟長会議	11月17日（土）～11月18日（日） 国立オリンピック記念青少年総合センター 各都道府県連盟より2人
新任連盟長研修	6月17日（日） ガールスカウト会館
都道府県連盟支援	随時
委員勉強会	未定
顧問会	10月13日（土） ガールスカウト会館
評議員会	12月8日（土） ガールスカウト会館
理事会・理事連絡会	理事会5回／理事連絡会7回
理事研修	9月8日（土）～9月9日（日） ガールスカウト会館
監査	5月6日（日） ガールスカウト会館
第90回定時総会	5月26日（土） ガールスカウト会館
ガールスカウト推進議員連盟総会	未定
地域支援事業	年間 ガールスカウト運動を推進する事業
戦略検討特別委員会	年間
組織・運営委員会	年間
『Girl Scouts' News』vol.3、vol.4 発行	年2回 全会員対象
事務局の強化	年間

## 会員

ガールスカウトの認知度を向上させ、新規に入会する会員数をさらに増加させます。より深くガールスカウトを伝えることと、ガールスカウトの体験機会の充実を目指します。特に、「おやこでチャレンジ」「春の体験集会」では、ウェブを活用した広報活動との連動を充実させ、新規会員の増加を図ります。また、現会員の継続率向上のための情報発信を強化します。

2020年100周年の年には、会員4万人を目指します。

事業名	期日・場所・内容など
おやこでチャレンジ (秋入会促進事業)	全国
春の体験集会(春入会促進事業)	全国
会員継続率向上のための取り組み	年間
会員データベースの活用	年間
会員の活動形態の検討	年間
表彰	功労章、永続奉仕章、感謝状等

## 社会との関係

社会に対し、ガールスカウトの統一したブランドイメージの発信、および、インターネット上での露出を増やすことを目的に、団・県連盟への支援をおこないます。外部からのアクセス増大や会員の利便性に配慮した公式ホームページの改善のほか、SNSなどを使い、認知度の更なる向上・拡大を進めます。

社会とのコミュニケーションを一層深め、他団体・企業との協働を進めることで、社会への影響力を高めます。

事業名	期日・場所・内容など
社会への発信のための全国活動	5月22日(火) ガールスカウトの日 全国一斉で実施
	10月11日(木) 国際ガールズ・デー
	2019年2月22日(金) ワールドシンキングデイ
KIZUNA Day	2019年3月11日(月)
広報イベント/広報キャンペーン	年間
ガールスカウトのPR	年間
広報資料の作成	年間
ホームページ等の運営	年間
SNSの活用	年間
社会との連携	年間
他団体との連携	年間



## 財政

100周年事業のための資金調達と、日本のガールスカウト運動が持続可能となる財政基盤の確立を目指します。また、日本連盟の財政計画については、継続的に検討し、財政の健全化を目指します。

事業名	期日・場所・内容など
ガールスカウト会館の運営	年間
戸隠ガールスカウトセンターの運営	春期利用：4月28日（土）～7月8日（日）
	夏期利用：7月14日（土）～8月31日（金）
	秋期利用：9月1日（土）～11月12日（月）
助成金の獲得	年間
寄付金の獲得	みらい募金、戸隠募金、賛助会費、 賛助会員トレフォイル等
戸隠を想う日イベント	6月7日（木）～6月8日（金） 戸隠ガールスカウトセンター
グッズ販売事業	年間
賛助会員トレフォイルの集い	日程未定／東京
財政検討特別委員会	年間
ファンドレイジング委員会	年間

## ガールスカウト日本連盟制定の日

名称	期日
ガールスカウトの日	5月22日（1988年～） 第二次世界大戦の勃発により一時解散しましたが、終戦後、子ども達から喜びや笑顔がなくなってしまったことを憂い、日本女子補導団時代の関係者が1947年の5月22日に集まってガールスカウト運動を再興すべく、ガールスカウト中央準備委員会を発足させました。この日を記念して5月22日を「ガールスカウトの日」としました。
戸隠を想う日	6月8日（2016年～） 1958年（昭和33年）6月8日に清水総主事・三角主事・洲崎キャンプ委員長（いずれも当時）が戸隠を視察し、キャンプ場の場所を決定する契機となったことから、6月8日を「戸隠を想う日」として制定しました。
KIZUNA Day	3月11日（2014年～） 東日本大震災の日（2011年（平成23年）3月11日）を、防災の意識や技術を高めるとともに、震災の記憶や復興への思いを風化させない日として、3月11日を「KIZUNA Day」に制定しました。

以上

ガールガイド・ガールスカウト世界連盟 2020年のビジョン：

すべての少女と若い女性の一人ひとりが尊ばれ、世界を変えるために行動を起こす

ガールガイド・ガールスカウト世界連盟 使命：

少女と若い女性が責任ある世界市民として、自らの可能性を最大限に伸ばせるようにする

ガールガイド・ガールスカウト世界連盟 2018年～2020年グローバル戦略のゴール：

ゴール1：ガールガイド・ガールスカウト運動の基本理念に基づくプログラムや教育方法を通して、少女と若い女性が能力を伸ばし、リーダーシップを発揮する機会をより多く提供する

ゴール2：ガールガイド・ガールスカウト運動の基本理念に基づくプログラムや教育方法を通して、少女と若い女性が世界を変える力をつける

## 創始者ベーデン-ポウエル卿のことば

ガールスカウト運動の目的は、  
少女と若い女性を3つのHを持つ市民、すなわち  
心身ともに健康（Health）で、人に役立つこと（Helpfulness）に  
幸せ（Happiness）を感じることができる市民に育てることである。



ベーデン-ポウエル卿とオレブ ベーデン-ポウエル

## ガールスカウト日本連盟歴史的覚書

1920年、英国聖公会の宣教師で、東京の香蘭女学校に教師として赴任したミス・グリーンストリートが、英国で始まったばかりのこの運動を伝え、イギリス連盟の日本支部として活動が始まった。その後、全国の英国聖公会の教会や女学校を拠点にして活動が広まり、1923年に、ガールスカウト日本連盟の前身となる日本女子補導団となった。1928年ハンガリーで開催された第5回世界会議で、ガールガイド・ガールスカウト世界連盟の創設が決定し、日本女子補導団はその創設会員のひとつとなった。その後1939年まで世界連盟の会員であった。日本が第二次世界大戦へと進む中、この運動が国際間の友情をはぐくむことを目的の一つとしていたため解散を余儀なくされ、1942年に自ら解散することを決定した。

戦後1947年に、日本女子補導団当時のメンバーが、「日本の少女たちのための活動を」と再びこの運動を日本国内で始めるために集まり、GHQの支援も得て、アメリカ流の『ガールスカウト』という名称で再開し、ガール・スカウト日本連盟を結成した。1952年には文部省（現 文部科学省）の主管で社団法人ガール・スカウト日本連盟が発足した。

ガールガイド・ガールスカウト世界連盟へは、1952年1月に加盟申請を提出した。1952年8月、ノルウェーで開催された第14回世界会議で準加盟が認められ、1960年、ギリシャで開催された第17回世界会議で正加盟が認められた。

1966年、第19回世界会議が東京で開催された。

2012年、社団法人ガールスカウト日本連盟は、日本の法律改正により、公益社団法人ガールスカウト日本連盟へと移行した。

(ガールスカウト日本連盟 基本綱領 抜粋)